

会派名：公明党西尾市議団

## 事業実績(研修)報告

### 1. 研修の概要

- (1) 目的 全国市議会議長会研究フォーラム
- (2) 日時 令和5年10月25日(水)26日(木)
- (3) 場所 福岡県 北九州市
- (4) 参加者 大塚久美子 議員1名 他市議員3名



(会場前)

### 2. 研修内容と所感

1日目

基調講演

「躍動的でワクワクする市議会に」 大正大学教授兼地域構想研究所長 片山善博

パネルディスカッション

「統一地方選の検証と地方議員の課題」

コーディネーター 谷 隆徳 日本経済新聞社編集委員

パネリスト 勢一智子 西南学院大学法学部教授

辻 陽 近畿大学法学部教授

濱田真里 Stand by Women 代表

女性議員のハラスメント相談センター共同代表

田仲常郎 北九州市議会議員

2日目

課題討議 「議員のなり手不足問題への取組報告」



コーディネーター 江藤俊昭

大正大学社会共生学部公共政策学科

事例報告者

辻 弘之 登別市議会議員

たぞえ麻友 一般社団法人 WOMAN SHIFT 理事

目黒区議会議員

永野慶一郎 枕崎市議会議員

(研修中)

## 所感

近年、地方議会は議員の性別や年齢構成の偏り、なり手不足の深刻化、議会への関心の低下などの厳しい課題に直面している。昨年12月には地方自治法の一部改正により議員の兼業規制の緩和などが図られ、また、本年4月には同法の一部改正により、地方議会の役割及び議員の職務等が法律上明確化されるなど、多様な人材の地方議会への参画促進に向けた環境整備が進められているが、まだまだ十分とは言えず、今後の更なる取り組みが求められている。そこで今回は、「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」をテーマとし、統一地方選挙の結果を徹底的に検証し、改めて地方議会の課題を整理した上で、その解決に向けた今後の方向性を展望することを目的に開催されました。

片山教授の基調講演で、議員の役割とは「首長が提出した予算案や条例案の内容をチェックし、与えられた審議議決権を行使して議案の可否を判断し、その結果に責任を持つことが本質だ。一般質問などで政策を執行部に提案することが最も重要な役割だと勘違いしている議員もいるが、それは誤った認識。提案を否定するものではないが、議会は立法機関であり、議案の最終決定者という自覚を欠いてはいけない。議員の能力や議会機能が低下すれば執行部の緊張感も薄れ、地方自治体のレベルが下がってしまう。」との指摘を受けたが必ずしもそうとは言えないと疑問を感じた。さらに、「議案審議する際に住民が議会で直接、政策案に対して意見を述べる場が設けられるべきだ。さらに有識者を招き、専門的な見解も聴けば審議はさらに充実し、広く理解を得られやすくなるだろう。執行部も真剣に予算編成や政策立案しているが、全てが完璧ではない。議会側は審議に費やす時間が足りなければ、会期を延長したり、通年議会を採用していつでも議会が開けるようにしたりすればいい。」今後、地方議会に期待することとして、「地方自治の砦になることだ。例えば、国の政策や方針が変わることに伴い、市町村で新規事業を予算化することなどがあるが、それが本当に地域の実情に即しているか内容を吟味し、自分たちの自治体に適したやり方ができるかが問われる。議会の形骸化は議員のなり手不足の原因でもある。有権者は選挙で議員候補を選ぶ際、公正かつ誠実で地域本位に考えられる人かどうか見極めてほしい。議会改革への一歩になる」との話であった。また、令和5年4月の統一地方選では、全体としては無投票当選が増加傾向にあること、また女性議員が増加しているもののまだまだ少数で、議会・議員の多様性を確保することの重要性などが指摘された。

議員の役割を市民に知ってもらうことが必要で、議員の意識改革が重要であるとの認識を持った。まだまだ勉強し、議員としての役割を果たしていく必要性を感じる貴重な研修を受けることができた。

## 収支報告

項 目	支出金額	備 考
研修費	0 円	
資料購入費	0 円	
旅費	52,240 円	
計	52,240 円	